学校番号	T3010

令和８年度　工業科

教科	工業	科目	製図技術	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	自主教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

図面の書き方や寸法の記入方法など、これまでに学んだ基本的な図面の書き方に加えて、作品を製作するときに必要な設計図や展開図を理解して、透視図法や色彩計画および描画・製図等のアプリケーションについても学びます。自分が作りたいものが表現できるように製図の基礎から表現方法までを課題に取り組みながら分かりやすく進めていきます。

図面の書き方を習得するには慣れることが大切です。できるだけ休まないようにしましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
・等角図や正投影図第三角法など、製図の基礎を正しく理解して、正確に図面が作成できる技術を身につける。ＰＣアプリケーションを使用した図面作成方法を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】
・透視図法を理解し、作品のパースや室内パースを描けるようにする。
・作成したい作品のアイデアを図面にできるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
・製作に至る設計及び製図について積極的に学ぶ姿勢を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	等角図や正投影図第三角法等の作成では、道具を正しく使い正確に作図ができている。 デジタルコンテンツの基本的な操作方法と色彩に関する知識を習得し、インテリアに関する作品の製作につなげることができている。	作図の条件や作図の方法を間違えた場合は、やり直す判断ができ、より正確に描き、丁寧に作図を仕上げることができる。 ＰＣアプリケーションを使った作業で、工夫を凝らした設計や効果的な配色計画ができている。	等角図や正投影図第三角法、透視図法等の作図および色彩・配色に関心をもち、意欲的に課題に取り組む態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	製図	等角図や正投影図第三角法等の図法の復習	ａ:等角図や正投影図、第三角法等の作成では、道具を正しく使い正確に作図ができている。 ｂ：作図の条件を正確に行えるよう、作業手順を考えている。作業を間違えた場合は、やり直す判断ができている。 ｃ:等角図や正投影図第三角法、の作図に関心をもち、意欲的に取り組む態度を身に付けている。	提出物 授業態度 課題プリント 振り返りシート	提出物 授業態度 課題プリント 振り返りシート	提出物 授業態度 課題プリント 振り返りシート
二学期	製図	ＣＡＤソフトの基本的な操作方法 CADソフトによる練習課題 CADソフトによる作図課題及び設計した図面に従って木工作品を製作する	ａ：ＣＡＤソフトの基本操作が理解できている。 木工作品製作に必要なモデル図や図面等の作成で、ＣＡＤソフトを正しく使えている。 ｂ：製作したい木工作品の図面についてＣＡＤソフトを使ってより良いものにできるように工夫している。不具合があった場合は、修正する判断ができている。 ｃ：ＰＣでの作業や色彩についても関心をもち、意欲的に取り組む態度を身に付けている。	提出物 授業態度 課題プリント 振り返りシート	提出物 授業態度 課題プリント 振り返りシート	提出物 授業態度 課題プリント 振り返りシート
三学期	製図	CADソフトを使用して設計した図面に従って木工作品を製作する	ａ：木工作品製作に必要なモデル図や図面等の作成で、ＣＡＤソフトを正しく使えている。 ｂ：製作したい木工作品の図面についてＣＡＤソフトを使ってより良いものにできるように工夫している。不具合があった場合は、修正する判断ができている。 ｃ：ＰＣでの作業や色彩についても関心をもち、意欲的に取り組む態度を身に付けている。	提出物 授業態度 課題プリント 振り返りシート	提出物 授業態度 課題プリント 振り返りシート	提出物 授業態度 課題プリント 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度